

## 2011年 第46回テレビ朝日ビッグスポーツ賞

2012年1月13日に行われる「第46回ビッグスポーツ賞」授賞式の際に、テレビ朝日スポーツが2011年に活躍した選手、団体から独自に選出する各番組、プロジェクト賞も同時に表彰を行います。このたび、受賞者が決まりましたのでご連絡させていただきます。先んじて発表させていただいておりましたビッグスポーツ受賞者とあわせてご確認ください。

### 【 主な会の出席者 】

佐々木則夫監督（なでしこ JAPAN）、室伏広治選手、内村航平選手、吉田沙保里選手、三宅宏実選手  
 栗山英樹監督、工藤公康氏、佐古賢一氏、棚橋弘至選手、古閑美保氏、羽生結弦選手                      ほか

## テレビ朝日スポーツ 番組・プロジェクト選考部門賞 受賞者

| テレビ朝日 スポーツ放送大賞                    |   |
|-----------------------------------|---|
| サッカー日本代表                          | 1月の『AFCアジアカップ2011』において、2大会ぶり4度目のアジア王者となる。韓国との準決勝では、アジアカップ歴代最高の視聴率35.1%を記録。オーストラリアとの決勝戦でも歴代2位の33.1%と高視聴率を獲得した。 |
| 日本サッカー応援宣言! やべっちFC賞 (サッカープロジェクト賞) |   |
| 清武 弘嗣                             | 8月、日本代表に初選出されるとデビュー戦で2アシスト。新世代のエースとしてロンドン五輪最終予選第1戦でも2得点を演出し勝利に貢献した。JリーグやAFCチャンピオンズリーグでも活躍。                    |
| 水泳プロジェクト賞                         |   |
| 寺川 綾                              | 世界水泳上海の50m背泳ぎで銀メダル。初出場となった2001年の世界水泳福岡から足掛け10年で初のメダルを獲得した。  |
| ゴルフプロジェクト賞                        |   |
| 古閑 美保                             | 2011年に現役引退。2008年にはテレビ朝日の中継するCAT Ladies、伊藤園レディスで優勝し賞金女王に。最後の優勝もテレビ朝日中継の2010年ヤマハレディスだった。ツアー通算12勝。               |
| スーパーベースボール賞                       |   |
| 工藤 公康                             | 実働年数歴代1位となる29年間の現役生活で224勝を上げる。西武、ダイエー、巨人では日本一に輝き、リーグMVPなど数々のタイトルを獲得。長きにわたり日本野球界を牽引した。                         |
| フィギュアプロジェクト賞                      |   |
| 羽生 結弦                             | グランプリシリーズ・ロシア大会で優勝。日本男子史上最年少でグランプリファイナルに進出し、見事4位入賞を果たした。  |
| 報道ステーション スポーツ賞                    |   |
| 川内 優輝<br>(マラソン)                   | 公務員として働きながらロンドン五輪代表候補となった“市民ランナーの星”番組の特集では何事にも全力の姿勢が多く視聴者の共感呼んだ。  |
| GetSports賞                        |   |
| 佐古 賢一<br>(バスケットボール)               | 2011年に現役を引退。「ミスターバスケットボール」と呼ばれ、日本のバスケットボール界をリードしてきた。GetSportsでは密着企画として過去最多の9回放送。                              |
| ワールドプロレスリング賞                      |   |
| 棚橋 弘至                             | 2011年、IWGPヘビー級王座を守り続け、歴代防衛最多タイとなるV10を達成。その活躍から2011年プロレス大賞MVPも受賞した。決めゼリフは「愛してま〜す!」。2012年1月4日には新記録のV11を達成。      |
| テレビ朝日スポーツ特別功労賞 (新)                |   |
| 栗山 英樹                             | 1991年から約20年間に渡り、野球中継や「報道ステーション」「熱闘甲子園」など数多くの番組において、“野球の新しい見方”を開拓。テレビ朝日スポーツに大きく貢献した。                           |

## 2011年 第46回テレビ朝日ビッグスポーツ賞 受賞者

| ビッグスポーツ賞  |   |
|---|---|
| なでしこJAPAN   | ◆女子ワールドカップ 初優勝<br>⇒日本サッカー界史上男女通じて初のW杯優勝<br>◆ロンドン五輪出場 決定<br>◆初の団体が国民栄誉賞受賞  |
| 室伏 広治   | ◆男子ハンマー投・世界選手権金メダル<br>⇒日本陸上界では初となる五輪・世界選手権制覇<br>◆世界選手権・男子史上最年長（36歳）での金メダル獲得   |
| 内村 航平   | ◆世界選手権 個人総合 金メダル<br>(団体：銀、ゆか：金、鉄棒：銅)<br>⇒史上初の個人総合3連覇  |
| ビッグスポーツ特別賞  |   |
| 柔道世界選手権 金メダリスト                                      |   |
| 海老沼 匡   | 男子66キロ級 金メダル  |
| 中矢 力  | 男子73キロ級 金メダル  |
| 浅見 八瑠奈  | 女子48キロ級 金メダル (2連覇)  |
| 中村 美里   | 女子52キロ級 金メダル  |
| 佐藤 愛子   | 女子57キロ級 金メダル  |
| レスリング世界選手権 金メダリスト                                   |   |
| 小原 日登美  | 女子48キロ級 金メダル  |
| 吉田 沙保里  | 女子55キロ級 金メダル 大会9連覇  |
| 伊調 馨  | 女子63キロ級 金メダル  |
| 安藤 美姫   | 世界選手権 金メダル  |
| ビッグスポーツ五輪奨励賞  |   |
| 競泳世界選手権 メダリスト                                       |   |
| 北島 康介   | 男子200m平泳ぎ 銀メダル  |
| 松田 丈志   | 男子200mバタフライ 銀メダル  |
| 入江 陵介   | 男子100m背泳ぎ 銅メダル 男子200m背泳ぎ 銀メダル   |
| 堀畑 裕也   | 男子400m個人メドレー 銅メダル   |
| 寺川 綾  | 女子50m背泳ぎ 銀メダル   |
| 体操 男子団体代表<br>(内村 航平 田中 和仁小林 研也<br>山室 光史 沖口 誠 田中 佑典) | 世界選手権 銀メダル獲得<br>ロンドン五輪出場枠 獲得  |
| 卓球 ロンドン五輪日本代表<br>(水谷 隼 岸川 聖也<br>石川 佳純 福原 愛)         | 水谷 隼 2大会連続五輪出場決定 (世界ランク7位)<br>岸川 聖也 2大会連続五輪出場決定 (世界ランク17位)<br>石川 佳純 五輪初出場決定 (世界ランク7位)<br>福原 愛 3大会連続五輪出場決定 (世界ランク8位) |
| 三宅 宏実   | 3大会連続五輪出場決定 世界選手権6位入賞   |
| 伊藤 正樹   | 世界選手権 男子個人銅メダル 五輪初出場決定  |
| ビッグスポーツ新人賞  |   |
| 松山 英樹   | 三井住友VISA太平洋マスターズ 優勝<br>⇒アマチュア選手としては石川遼以来史上3人目のプロツアー優勝<br>ユニバーシアード 男子個人 金メダル   |
| 高梨 沙羅   | ノルディックスキージュニア選手権：6位<br>コンチネンタルカップ：優勝<br>◆国際スキー連盟公認国際ジャンプ大会での女子選手史上最年少優勝   |
| 渡部 香生子  | 世界ジュニア選手権 女子平泳ぎ200m金メダル<br>世界ジュニア選手権 女子4×100mメドレーリレー金メダル<br>世界ジュニア選手権 女子平泳ぎ100m銀メダル                                 |